

さんもくせい

平成27年2月17日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 土屋 直子
(沼津市立第四中学校)

「出会いは感動、出会いは学びなり」

静岡県養護教諭研究会 副会長 山崎 永子



研究会の副会長を務めて、早1年が過ぎようとしています。この間、県教育委員会及び静西教育事務所へのご挨拶や連絡調整、また、研修会や調査研究委員会の開催などを通じて数多くの方々との出会いがありました。その時々において、皆様からいただいたご指導、ご鞭撻のおかげで、現在の職責をなんとか1年間、繋いでくることができました。ありがとうございました。

とりわけ、初心に戻って自分を振り返ることができた冬季研修会での県立総合病院救命救急センター看護師長の岡下和代先生との出会いは思い出深いものでした。自己開眼するような胸に迫るものを感じました。メールのやり取りで講話の内容を確認し合い、当日配付する資料のデータを事前に目にした時は、バイタルサイン（脈拍、呼吸、体温、血圧）の確認のコツや、実践に向けての具体的な内容など、目を見張るものばかりでした。なかでも心臓や呼吸運動の動画は大変興味深く、120枚のスライドシート1枚1枚に夢中に見入っている自分がいました。「何てカッコイイお仕事をしているんだろう。」と胸を打たれました。遠い昔に学習した救急処置を紐解き、自己流になっていた保健室でのけがの対応を振り返りながら、奥深い基礎基本を整理整頓し学ぶことができました。

研究会事業のテーマである「養護教諭の職務を再構築しよう。」は、自分自身の再構築でもあったと、今、痛感しています。

地区紹介

静岡地区

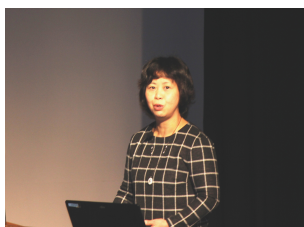


静岡地区は、静岡・清水・由比・蒲原の地域からなり、静岡市養護教諭研究会は、公立幼稚園・小中学校と一部の私立小中学校の計155名で組織されています。本年度から、校長会との合同代表者会が開催され、養護教諭の現状と課題を共通認識していただく場となりました。夏の全体研修では、静岡市立清水病院産婦人科思春期外来の阪部江里子医師にご講話をいただき、思春期における性の実態からライフスタイルまで、生涯にわたっての性の指導のあり方を学ぶ機会となりました。

支部研修は12の支部に分かれ、市の研修テーマ「生きる力と豊かな心をはぐくむ健康教育」のもと、各々テーマを決め研修をしています。日常執務の問題点や事例の検討なども併せて行い、会員相互の資質の向上及び若手の育成の場として重要な位置を占めています。また、政令指定都市として、指定都市学校保健協議会に参加しており、毎年一つの支部が実践発表を行っています。平成28年度には、静岡市で開催予定となっており、会員一同、研修に励んでいます。

冬季研修会報告

12月11日、「あざれあ」にて、冬季研修会が開催されました。午前は「頭部外傷時の救急対応ーフィジカルアセスメントを中心にー」と題して、梅花女子大学看護学部准教授の中島敦子先生をお迎えし、講演が行われました。午後は、4つの講座に分かれて、養護教諭の職務の再構築につながる研修を行いました。参加者の感想を掲載します。



講演 「頭部外傷時の救急対応ーフィジカルアセスメントを中心にー」

梅花女子大学看護学部准教授 中島敦子先生

- ・頭部外傷について観察から養護診断、事後措置と細かくすべきことが分かり勉強になった。
- ・グラスゴー・コーマ・スケールの話聞き、問診の大切さがわかった。

- ・今まで大事故に至る頭部外傷がなかったが、今後の対応に備えたい。保健室にも掲示したい。
- ・子どもの命を守り、自分の身も守っていくためにも、フィジカルアセスメントと記録を更に大事にしていきたい。詳しく具体的にお話をしてくださったので、学校での実践につなげていきたい。



講座1「保健室経営計画を作成しよう」

講師：静岡市立東中学校 平山美奈子養護教諭
静岡県教育委員会 柿沼いずみ指導主事

- ・今まで、保健室経営や保健室経営計画をじっくり考え学ぶ機会がなかったので詳しく教えていただき理解できた。
- ・年度末の各分掌の反省会議の時に、今年度の反省と次年度の課題を少し取り入れた経営計画を出してみようと思う。

講座2「救急処置」

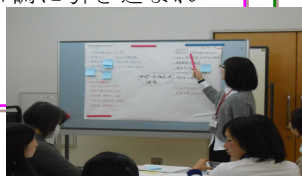
講師：静岡県立総合病院 岡下和代看護師長

- ・なぜバイタルサインが必要なのか生理学的な話から聞けて、納得することができた。
- ・救急の現場で働く看護師長さんのお話は、とても説得力があった。
- ・解剖生理を理解することで、病態や対処法、治療法まで学ぶことができ、改めて解剖生理の大切さを感じた。

講座3「保健室からの声かけ(ヴォイスセラピー)」

講師：ヴォイスセラピー実践研究家 上藤美紀代先生

- ・声の持つ力に興味を持った。保健室でもヴォイスセラピーを実践していきたい。
- ・とても温かな講演でヴォイスセラピーをうけているようだった。
- ・絵本の読み語り心がにじみした。
- ・上藤先生の優しく響く語り口調に引き込まれて、癒された。



講座4「保健室からの発信・啓発活動の実際」

講師：浜松市教育委員会 田中公子主幹指導主事
静岡市教育委員会 大澤京子指導主事

- ・相手が何を求めているか要求に応じた発信ができるようにしていきたい。
- ・他校の動き、発信の仕方を学べてとても勉強になった。
- ・啓発内容だけでなく、方法、プレゼン、伝え方、話し方についても学ぶことができた。